

ごみの排出抑制にご協力ください

奈良市環境清美工場の四炉ある焼却炉の一炉で故障が発生し、緊急修繕が必要となりました。本修繕には4～5ヵ月程度の期間を要する見込みであり、且つ一炉については現在オーバーホール中であることから9月上旬までは二炉でごみの焼却処理を行わなければなりません。

このため搬入されたごみの全量を焼却処分することができず、処理が困難となったごみは他市等で処理する区域外処理を行っています。

ごみの収集につきましては通常どおり実施しますが、本市の状況をご理解いただき、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の排出を減らしていただきますようご協力をお願いします。

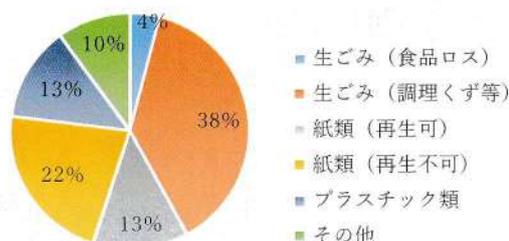
※現在、大型ごみ・持込ごみの受付は、通常どおり行っておりますが、一部ごみ処理が困難となっている状況をご理解いただき、これらの排出抑制にもご協力をお願いします。

◆ごみの量を減らすためには

グラフから読み取れる通り、搬入される燃やせるごみのうち約75%以上が生ごみ又は紙類です。

これを減らしてごみの量を減らします！

家庭系可燃ごみ組成分析表



◆ごみを減らすために2つのお願い

【その1】 生ごみを減らす！

生ごみを減らす取り組みとして

- ① 食品ロス削減・・・食べ残しを減らす。食べきれない量の買い物をしない。賞味期限・消費期限が近いものから食べる。
- ② 水切りをしっかりと・・・調理くずなどの生ごみは70～80%が水分。水切りをしっかりとすることで、10%以上重量が減ります。また、生ごみの悪臭防止にも役立ちます。

水切り器具はペットボトルで簡単に作れます。

(参考 奈良市HP「水切り」で検索)



【その2】 雑がみを分別・リサイクル

燃やせるごみのうち約13%が再生利用可能な紙類です。

特に雑がみを分別し、リサイクルすることでごみ減量につながります。

※雑がみ周知チラシを見ていただき、分別とリサイクルの徹底をお願い致します。(奈良市HP「雑がみ」で検索)

<雑がみの例>



食品の箱 パンフレット・カタログ

これだけで約20%のごみの削減、減量ができます！！

一人ひとりの小さな努力の積み重ねで、この危機を乗り越えましょう。

また、分別・減量を当たり前にし、今後も持続可能なまちづくりを目指していきましょう。